

令和4年度第3回山形県地域医療対策協議会 概要

1 日時

書面開催（令和5年2月14日～2月22日までの間、協議事項の賛否を提出）

2 議題

〔協議事項〕

- ① 令和5年度医師配置計画（最終案）について
- ② 令和5年度医学部地域枠の設定に関する取組み（案）について
- ③ 臨床研修病院における令和6年度研修医募集定員（案）について
- ④ キャリア形成卒前支援プラン（案）について

〔報告事項〕

- ⑤ 医師の働き方改革（特定労務管理対象機関の指定）について

3 協議結果

- 委員全員の賛成により承認された。

〔協議事項〕

- ① 令和5年度医師配置計画（最終案）について

（主な意見）

- 配置計画（案）で令和4年度よりも減少する医療機関については、修学資金の貸与を受けた医師以外の医師派遣により、確実に医師数が充足されるように対処してもらいたい。（大澤 病院事業管理者）

- ② 令和5年度医学部地域枠の設定に関する取組み（案）について

（主な意見）

- 地域枠のコンセプトは主として、医師不足地域解消というイメージでとらえられがちであるが、病院で必要とされる専門医自体も極端に不足しており、県内定着に際して、大学と病院のローテーションの原則は維持しつつも、中核病院に専門医をプールし、必要に応じて派遣する仕組みがあっても良いのではと思われる。（武田 県立中央病院長）
- 県外医療機関への研修のための中断者が増加しているが、その理由や背景を把握のうえ、各事例への目配りが必要。（貞弘 山形市立病院済生館長）
- 山大医学部の「地域枠」の募集定員が8名となっているが、県内に残る医師の確保に向けては、今後募集定員の増が必要と考える。（鈴木 鶴岡市立荘内病院長）
- 修学資金における義務年限について、貸与期間に応じた勤務年数となるよう、最低勤務年数の見直しが必要ではないか。（佐藤 山形県市長会長）
- 勤務地を決定する際は、本人が希望する専攻の診療科について最大限配慮することが必要である。（佐藤 山形県市長会長）

- 義務年限終了後においても、対象医師が県内に留まり、地域医療に貢献するという視点での長期的戦略が必要。(佐藤 山形県市長会長)

③ 臨床研修病院における令和6年度研修医募集定員(案)について
(主な意見)

- 二次医療圏毎に医師少数区域か否かを決定することは、区域が広すぎてその地域の医療の実情に合わなくなっていると考えられ、その地域の中核となる病院の医師数に大いに着目した設定が必要ではないか。(鈴木 鶴岡市立荘内病院長)

④ キャリア形成卒前支援プラン(案)について
(主な意見)

- ・ 特になし

〔報告事項〕

⑤ 医師の働き方改革(特定労務管理対象機関の指定)について
(主な意見)

- 宿日直許可が得られなかった医療機関に対しても、サポート、アドバイスをお願いしたい。(武田 県立中央病院長)
- 法整備の主旨を充分理解をいただきながら、適正な執行に努めて欲しい。
(原田 山形県町村会長)

以上